

1月

## パクパクタイムズ

きょう  
<今日のメニュー>

もち入りきつねうどん

だいがくいも  
♪ 大学芋ぎゅうにゅう  
牛乳

※♪マークのついたメニューはリクエストメニューです!



1月11日に、神様に供えた”鏡もち”を食べる行事を「鏡開き」といいます。昔の人は、神様に供えたものを食べることで、病気にならず、健康に過ごせると考えていました。お正月の間に供えていた鏡もちをいただく際に、「切る」や「割る」という縁起の悪い言葉を使わずに、未広がりを意味する「開く」が使われるようになりました。

## &lt;ぱくぱくクイズ&gt;

「もち」はいつ頃から日本で食べられるようになったでしょうか？

①平安時代

②鎌倉時代

③江戸時代



(こたえ) ①平安時代 (794年～1185年)

日本では、「平安時代」には「もち」が食べられていたと言われています。正月や祝い事などの「ハレの日」の特別な食べ物でした。地域によって「もち」の形は変わり、関東地方では四角い「角もち」、関西地方では「丸もち」がよく食べられています。

きょう きゅうしょく のこ  
今日の給食も残さずおいしくいただきましょう！